

サーカス

叶正子（デビュー以来の歌姫）

叶 高（リーダー、叶正子の弟）

叶ありさ（新メンバー、叶高の娘）

吉村勇一（新メンバー、オーディションで抜擢）

1978年『ミスター・サマータイム』、1979年『アメリカン・フィーリング』が大ヒット。男女二人ずつ、しかも3人姉弟＋従姉というユニークなヴォーカルグループとして、音楽界に颯爽とデビュー。その後メンバーチェンジを経て現在のメンバーとなる。

洗練されたそのハーモニーは各方面より高い評価をもって迎えられ、レコード大賞編曲賞などを受賞。NHK紅白歌合戦などをはじめ多くの音楽番組にも出演。そのハーモニーはCM等でも一聴してサーカスと認識される程に浸透することとなり、コーラスグループのパイオニアとして日本のミュージックシーンに新たな風を吹き込んだ。

また“**We Love Harmony!**”を合言葉に全国各地でのコンサートツアーを開催。万博など様々なビッグイベントにも出演し服部克久、前田憲男らとの共演を機に多くのオーケストラ、ミュージシャンとの共演も果たす。一方、地元合唱団らとの共演も多く 2011年5月にはニューヨークの「**JAPAN DAY**」から招聘され、セントラルパークでライブを行っている。

35周年を迎えた2013年3月、メンバーの叶央介、原順子が卒業。それに伴いソロシンガーとして活動していた吉村勇一と、サーカスメンバー叶高の娘である、叶ありさが加入し新たなサーカスの歴史がスタート。

2013年4月に35周年記念アルバム「**We Love Harmony!**」を、また5月には80年代JPOPをカバーした「**The Reborn Songs～80's ハーモニー**」をリリース。

2015年10月から、コンセプトミニアルバム”**POP STEP シリーズ**”の制作をスタート。第1弾「**Pop Step Jazz**」を、2016年5月に第2弾「**Pop Step Bossa**」を、そして2017年1月には第3弾「**Pop Step Ballad**」をリリース。

新生サーカスのテーマは「繋ぐ」。

親子世代の4人が奏でるハーモニーは、世代もジャンルも超えた音楽を生み出し繋いでゆく。

2018年3月には結成40周年を迎え、同年4月に40周年記念アルバム「**POP STEP 40**」をリリースする。

またグループ活動と並行し各メンバーそれぞれソロ活動も行っている。